

休日当番病・医院

8月10日(日)

- | | | |
|-----|--------------------|---------|
| ◆内科 | 夜間・休日急病センター
旭町 | 32-0099 |
| ◆外科 | 同樹会荻小牧病院
新中野町 | 36-1221 |
| ◆歯科 | おひさまスマイル歯科
しらべ町 | 74-0001 |

療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



8月25日(月)

渡辺達生弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苫小牧地区委員
苫小牧市見山町2-2-6 申込56

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苫小牧地区委員会

苫小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
 日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
 苫小牧市議団ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
 eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

米国の兵器買うため 命犠牲にするのか

憲法生かす会宣伝

参院選でも少数与党／軍拡許さず

たまま。石破首相は、故安倍氏の意思を受け継ぐと改憲への意欲を示している」と強調。

「日本政府は、米国から日米軍事一体化と、抜本的な軍事費の増強を求められている。石破首相は、米国におけるのではなく、憲法を活か

協、原水禁が、三者初の核兵器廃絶に向けた国民的な取り組みを呼びかける共同アピールを発表した。この声を大事にして、立場を超えての80年の運動は、希望の光となっています」

「日米が核兵器使用の議論をしていることが暴露

されたが、戦争が爆国の内閣のやることではない。脅しのために、いつでも使おうとする勢力を排除しなければなりません。核兵器反対、憲法守れの声を大きくしていこう」と呼びかけました。

2018年から市内2カ所で始めた宣伝活動は、柳町の89回と合わせて168回、参加者はのべ2280人を超えています。平和憲法を守る取り組みがいよいよ大事になってきています。

日頃からのご愛読ありがとうございます。
 本号は8月10日付号と17日付号との合併号となりますので、17日付の発行は休ませていただきます。ご了承ください。
 次号の発行は24日付号となります。

●お知らせ

日頃からのこ愛読あり
とうございます。

本号は8月10日付号と
17日付号との合併号とな
りますので、17日付の発
行は休ませていただきま
す。ご了承ください。

民主苦小牧 編集部

などと主張しました。

民主的運動弾圧への危険な道

参政党が「スパイ防止法案」提出準備

参政党の神谷宗幣代表は参院選後の7月22日、秋の臨時国会にむけ、「スパイ防止法案」の提出を準備していると表明しました。法案の内容は検討中だといいます。同党は、参院選公約に「日本版スパイ防止法の制定」を掲げていました。

（家庭連合）と一体の勝共連合が署名・請願運動を熱心に展開しました。しかし国家秘密の内容を限定せず、取材・報道の自由や国民の知る権利を脅かす危険性が明らかになり、反対世論の高まりと国会論戦による追及で、86年に廃案に追い込まれた経緯がある。

同法をめぐっては、
198
ります。

します。戦前の天皇制政府は治安維持法などで、「国体」に反対する者に極刑（死刑）を科し、日本共産党などを徹底弾圧し、広く国民を監視して自由と民主主義を圧殺しました。この反省から、現行の日本国憲法には「思想・信条の自由」「表現の自由」などが規定されました。

5年に自民党が「国家秘密法案」（スパイ防止法案）を提出。防衛・外交にかかわる「国家秘密」を外国に漏らした者に死刑を含む厳罰を下す内容で、統一協会（世界平和統一

神谷代表は会見で、「スパイ防止法で思想統制をするつもりはない」としつつ、「昔、共産主義者がやっていた天皇制の打破とか、国体の破壊とか、そういうことを言って実

「スパイ防止法」制定をめ
ざす参政党の方針は、国民主
権を守る民主的な運動を「国
体」破壊の運動と決めつけて
取り締まろうとの狙いをうか
がわせるもので、戦前回帰の

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 撤回を
日本共産党

「ほんの紹介」
Das Kapital 18
三島洋行
Q&A 志位和夫
いま「資本論」が
おもしろい
「資本論」の魅力を
一冊でわかる
好評発売中！
1210円
(税込)

◆日本共産党は創立103年、国民の切実な要求実現のためにあらゆる可能性を追求します。

合格は誤り 再エネに転換を

泊原発 規制基準に適合 27年再稼働？

原子力規制委員会は7月30日、北海道電力泊原発3号機について、再稼働の前提となる新規制基準に「適合している」とする審査書を正式に決定しました。北電は2013年に審査を申請し、審査は12年に及びました。

北電は再稼働について、「27年の出来るだけ早期」としていますが、地元自治体の同意を得る必要があります。北海道の研究者らでつくる「行動する市民科学者の会・北海道」は同日、北電泊原発の「合格」に抗議し、「北電に再調査を命じ、規制委員会として科学的な調査をすべきだ」と求めました。

記者会見で小野有五事務局長（北大名誉教授）は、会として独自調査をもとに委員会に対して科学的知見を伝え、学会誌にも査読付き論文を公表してきたと強調。「北電はその知見を無視、または非科学的にこまかし、委員会も応答せず北電の姿勢を追認している」と批判しました。



原発再稼働反対を訴える（25日札幌市）

休日当番病院・医院

●11日（月）山の日

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苫小牧泌尿器科・循環器内科 明野新町 57-0455
- ◆歯科 大原歯科医院 しらかば町 74-0830

●17日（日）

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苫小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 沖歯科医院 見山町 72-8558

原水爆禁止世界大会への代表派遣カンパに「協力をお願いします」

原発近くの幌似露頭で火山性鉱物が確認され、外部の専門業者の分析によつて北電の主張とは異なる測定値が出ているとして「露頭（原周辺）の火山性を否定する北電の主張は誤っている事は確かだ」と指摘。「敷地の活断層など、ほかにも問題点はあるが、この火山の問題だけを見ても合格などありえない」と強調しました。

日本共産党の島山和也元衆院議員は7月25日、札幌駅前でのチエルノブイリデー宣伝に参加しました。島山さんは、異常な酷暑が続く中、日本は石炭火力発電への固執など、気候変動対策

性を否定する北電の主張は誤っている事は確かだ」と指摘。「敷地の活断層など、ほかにも問題点はあるが、この火山の問題だけを見ても合格などありえない」と強調しました。炭素の名目で北電が狙う泊原発の再稼働について、ふくしま続ける安全対策費などの問題点を指摘し、「住民合意、環境を大事にしながら再生可能エネルギーに転換をすべきです」と呼びかけました。

まだ捨てないで！健康保険証 期限切れでも来年3月末まで受診可能

「有効期限が切れた健康保険証を捨てないで下さい」。7月以降に保険証の有効期限を迎える国民健康保険（国保）加入者について、厚生労働省は2026年3月末まで、従来の期限切れの保険証や「資格情報のお知らせ」でも、保険医療を受診できるよう事務連絡をだしました。先月末に保険証の有効期限を迎えた国保加入者は1700万人（全体の7割）にも及びます。

マイナンバーカードに保険証（マイナ保険証）を登録している人には「資格情報のお知らせ」、マイナ保険証を登録していない人には「資格確認書」が交付されます。一方、厚労省は6月27日に、有効期限が切れた保険証でも医療機関を受診できるよう事務連絡策です」と強調しました。

生業と暮らしを守るために
インボイス
制度廃止を
日本共産党



参院選たのしみ終わって（7月19日札幌）

国会かけある記 紙ともこです

参議院議員の任期が7月28日で終わりました。「かけある記」を書くのも今回が最後です。読者、編集に携わったみなさんに感謝いたします。私は、2001年の参議院選挙で初めて国会に送っていただきました。「いのち・食と農」を原点に4期24年間、農林水産委員会や沖縄・北方特別委員会、東日本大震災・福島第1原発事故後は、東日本大震災復興特別委員会などに所属して活動してきました。

みなさんの支えで 駆け抜けた24年間

「かけある記」は、その時々々の国政や活動のなかでの発見と驚き、いのちの大切さ、怒りや喜び・希望など、心に響いたことをスケッチしてきました。最初の6年間は、無我夢中であつたという間でした。24年間、自民党の社会保障の改悪、戦争する国づくり、農業・農村つぶしの悪政と対決してきました。全国の農山漁村を訪ね、《自民党にはもう任せられない》と未来像を描き、開拓精神を発揮して切り開く生産者らの姿に学ぶとともに、現場の要求を政府にぶつけて闘ってきました。大震災・原発事故の被災地を訪ね、被災者支援、原発ゼロを政府に迫ってきました。

千島Ⅱ領土問題と根室・隣接地域の振興、アイヌ民族の先住権回復などの課題に取り組んできました。当面、日本共産党本部で農林漁業、国民運動委員会が仕事を続けます。希望ある未来をつくるために、これからもみなさんとともに歩んでいきたい。紙智子（かみ・ともこ） 日本共産党前参議院議員